

2009年 月 日

厚生労働大臣  
長妻 昭 殿

住 所 \_\_\_\_\_  
医療機関名 \_\_\_\_\_  
氏 名 \_\_\_\_\_

### 歯科医療機関の危機打開のために、来年度予算編成に向けて “診療報酬引上げ”と“患者負担解消”を求める要請書

「歯科医師の4人に一人が年収3百万円以下」と言われるように、歯科医院の経営危機が進行しています。こうしたもとで、私立歯科大学の4割が定員割れとなるなど、歯科医療はまさに崩壊寸前の状況です。また、相次ぐ患者窓口負担増による受診抑制は、医科以上に深刻な様相を呈してきています。

そして、政府が強行しようとしている診療報酬請求オンライン化は、医療の画一化や個人情報漏洩の危険性など、重大な問題をはらんでいます。

来年度の予算編成に向け、社会保障費抑制策を抜本的に改め、医療費総枠を拡大し、以下の事項の実現を強く求めます。

- 1、歯科の深刻な経営危機を打開するために、診療報酬を10%以上引上げること。
  - ①初診料を300点、再診料を100点にすること。
  - ②長年据え置かれた「ウ蝕処置」などの基礎的技術料を大幅に引上げること。
  - ③歯科疾患管理料を廃止し、医学管理のあり方を抜本的に改善すること。
  - ④保険外併用療養費の拡大や補綴の保険給付外しを行なわないこと。
- 2、現在3割の患者窓口負担を解消すること。
- 3、後期高齢者医療制度は廃止すること。
- 4、診療報酬のオンライン請求義務化は撤回すること。

以上